

問6 小規模化の影響について、それぞれの項目にどの程度影響があるか

小規模化の影響について、いくつかの項目を挙げ、どの程度影響があるかという問では、人間関係の固定化、団体競技・行事等の活動という項目で8割以上、PTA活動などの保護者の負担という項目で7割以上、集団の中で切磋琢磨して学習する機会、社会性・コミュニケーション能力の育成、意見発表などの機会という項目でも6割以上の方が「大いにある」、「ある程度ある」という回答であった。

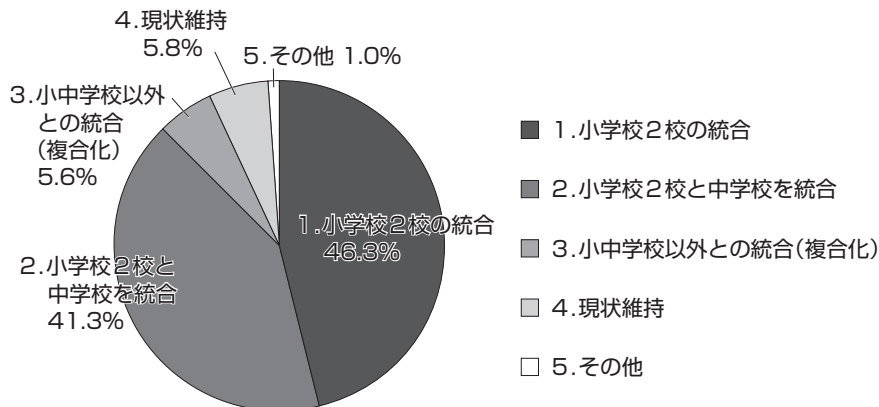
問7 将来の長瀬町立小中学校の再編（統合）に対する考え

「小学校2校の統合」が46.3%、「小学校2校と中学校を統合」が41.3%、「小中学校以外との統合（複合化）」が5.6%、「現状維持」が5.8%であった。

年代別の回答では、60代、70代で「現状維持」を望む回答が他の年代と比較して少し多い傾向があり、その多くが一小区域在住者の回答者によるもので、どの年代においても、多くの方が何らかの統合を望むという回答が9割以上となった。

地域別にみると、「小学校2校の統合」は一小区域在住者では49.9%、二小区域在住者では37.3%だった。「小学校2校と中学校を統合」は一小区域在住者では36.7%、二小区域在住者では53.0%という結果であった。

保護者アンケートの結果と同様に、一小区域在住者の回答では、「小学校2校の統合」を望む回答が多く、二小区域在住者においては、「小学校2校と中学校を統合」を望む回答が多い結果となった。



○ 今後の進め方

長瀬町学校のあり方検討委員会では、保護者及び町民アンケートの結果や町の現状などを踏まえ、今年度中の答申を目指し、協議を重ねていきます。

検討の進捗状況につきましては、今後も定期的に広報紙やホームページでお知らせをしていきます。

◇◇◇◇◇ 長瀬町学校のあり方検討委員会 会議報告 ◇◇◇◇◇

○ 第6回長瀬町学校のあり方検討委員会では7月9日(金)に学校見学を行いました。

委員の方には、各小中学校の授業の様子や施設の状況を見学いただき、子どもたちが過ごしている様子を実際に見て、一小と二小の学習環境の違いや中学校の学習環境について感じたことなどを話し合いました。

○ 第7回長瀬町学校のあり方検討委員会を9月8日(水)に開催しました。

この会議では、町民アンケートの概要と集計結果で得られた情報を基に、意見交換を行ったほか、答申内容の骨子（案）について協議しました。



教室の様子（一小）



学校見学の様子